

令和5年度 第2回末野原地域会議 会議録

- 日 時 令和5年5月17日(水) 午後7時から8時45分まで
- 場 所 末野原交流館 2階 多目的ホール
- 出席者 委 員 : 15名
交通安全防犯課 : 福岡副課長、塚本担当長
事務局(上郷支所): 近藤支所長、小船担当長、鷹見主査

■次 第

- 1 会長あいさつ
- 2 第1回地域会議の会議録等について
- 3 協議事項
(1) 提言について
- 4 報告事項
(1) 末野原地域会議だより No42 の発行について
(2) 上郷地域バスについて
- 5 事務連絡

■議事(要約)

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 第1回地域会議の会議録について

・第1回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た

- 3 協議事項
(1) 提言について
①豊田市の交通安全対策について

次の項目について交通安全防犯課から説明し、質疑を行った

- ・豊田市の交通安全施策
- ・豊田市の事故の傾向と末野原地区の特徴
- ・交通事故防止の先進事例と市の取組

<質疑等>

委 員：交通事故件数について、警察が主要交差点に監視カメラを設置し、交通事故や渋滞状況を監視しているが、市として設置状況を把握し、交通事故防止等にデータを活用しているか。また市内の防犯カメラについても市の把握状況を知りたい。

交通安全防犯課(以下:交防):交通安全防犯課では警察設置のカメラは把握しておらず、交差点等に交通安全防犯課が設置したカメラもない。しかし、カメラの重要性は認識しており、カメラの設置により事故データを収集し、未然に事故を防ぐことにもなることから、現時点で示せるものはないが今後の活用を検討している段階である。

委 員：飲酒運転について。2020年度豊田市は県内の飲酒運転検挙数がワースト2位で

あった。また、全国の飲酒運転による死亡事故数は10年前の2倍になっている。飲酒運転というのは人の心持ちでできることであり、代行運転等飲酒運転を防ぐ策はあるのでお酒を提供する店への啓発等強く進めると良いのでは。また、この地域にはチョイソコにここバスもあるので夜間のデマンドバスとして活用できるとよい。

交 防：飲酒運転撲滅への取組はコロナ禍で休止していたが、その前は居酒屋を訪問し啓発活動をしていた。対策については先日も若者が飲酒による死亡事故を起こしており、全年齢に対する対策が必要だと感じている。

委 員：ぴかっとわたるくんについて、設置できる条件はあるか。また、説明のあった施策について、市としていつ頃を目標としているか。

交 防：ぴかっとわたるくんの設置条件については、まず、自治区からの工事要望に基づいて設置を検討している。設置個所は基本的には市道（県道、国道は管理者が市ではないため）。また、機器を設置できるガードパイプ等があることも必要である、自治区から要望があったら現地確認等しながらケースバイケースで対応している。なお、ぴかっとわたるくんの設置目標等は特に定めていない。

委 員：末野原は田んぼが多く、耕作地の草が放置されて見通しがとても悪くなっている。中には子どもの背丈や車の車高より高く草が伸び、危ないという話も聞く。市が田畑の耕作者に対して草刈りを促すような働きかけはできないか。

交 防：行政から私有地の草刈りを要請するのは難しい。都度、自治区と相談させてほしい。

委 員：ゾーン30プラスについて、大林公園のところにスピードを抑制するため道路が蛇行しているところがあるが、それと何が違うのか。また、岡崎市にはポールを活用してスピード抑止をしている道路がある。ラバーポールの設置は安価にできると思うのでそれも検討してはどうか。

交 防：大林公園のところはゾーン30の適用はないが、スピード抑止の目的は同じ。ゾーン30プラスはゾーン30エリア内にスピード抑止効果のある施設を設置することによってより効果を期待するものである。また、岡崎市の事例について、現在既にゾーン30を導入している地域にプラスを進めていく際にはラバーポールの活用も選択肢として検討していきたい。

委 員：交通安全対策や道路に関する事業は警察や道路管理者、交通安全防犯課等いろいろな部署がやっており、各部署の守備範囲が分かりにくい。今後課題を検討していくにあたってそれぞれの役割がわかる一覧表のようなものが欲しい。例えば、横断歩道のカラー舗装や交差点のカラー舗装はどこが実施し、どのような設置基準があるのか。今回説明のあったハイテクな施策だけでなくこういった地道な交通安全活動も必要。これはどの部署が担当しているか。また、交通安全防犯課のソフト面の取組について。自転車の交通安全ルールが守られておらず加害者や事故の起因となることがあると思うが、自転車に対する取組はどのようなものがあるか。

交 防：まず、各課の役割については後日資料を提供する。横断歩道や交差点のカラー舗装は交通安全防犯課が行っており、事故件数や自治区からの要望に基づいて実施している。

また、自転車への啓発については交通安全学習センターで教室を実施したり、駐輪場で啓発したりしているが、なかなか浸透していないのが現状。ヘルメットの着用についても同様。効果的な方策を警察署と一緒に模索中である。

委 員：小学校区別の事故マップについて、交通弱者の事故の多くが信号のない交差点で起きているように見えた。提言に向け事故の傾向を見て検討をしていきたい

が事故の詳細を知ることが可能か。

また、スマートポールについて。設置個所を通ることがあるがいつもどうなるかと作動するのかわからない。

交 防：事故の詳細情報については内容を事務局と調整して回答する。スマートポールについて、現在は稼働していない。スマートポールは実証実験で稼働していない時期と稼働させたときの変化を比較しており、現在は稼働させていない状態のデータを収集している。

②前回のふりかえりと今後の流れ

前回決定した事項について、提言までの今後の流れを事務局から説明した

②提言書素案について

提言書の素案を元に全体協議し、内容の確認と意見出しを行った

4 報告事項

次の事項について、事務局から報告した

- (1) 末野原地域会議だより No42 の発行について
- (2) 上郷地域バスについて

◆次回会議開催について

◇第3回地域会議

と き：令和5年6月21日（水） 午後7時から
ところ：末野原交流館2階 多目的ホール